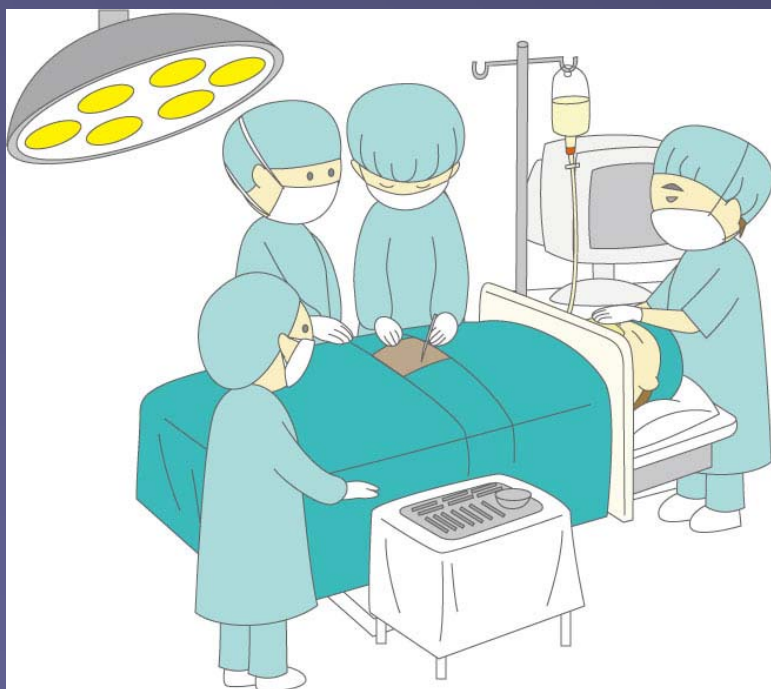


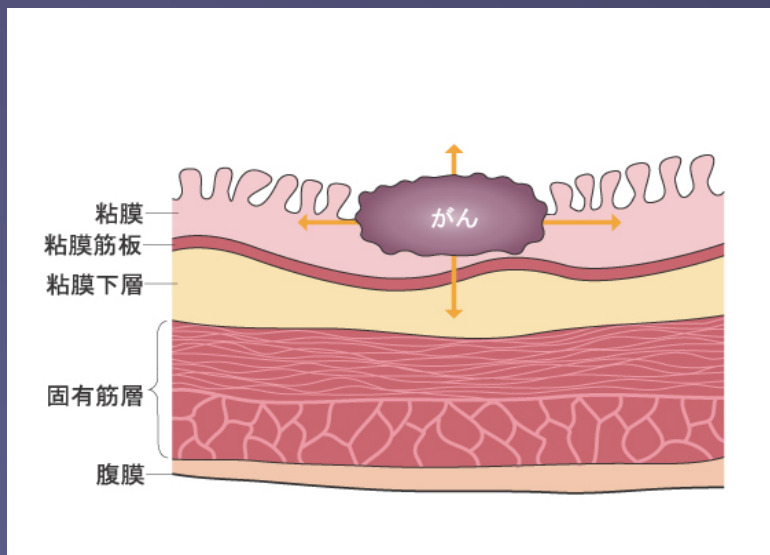
図1 腹腔鏡下手術とは？

全身麻酔下に臍付近に小さな穴を開けておなかの中を炭酸ガスで膨らませて、ファイバースコープと長い鉗子を挿入して、おなかの中で行う手術

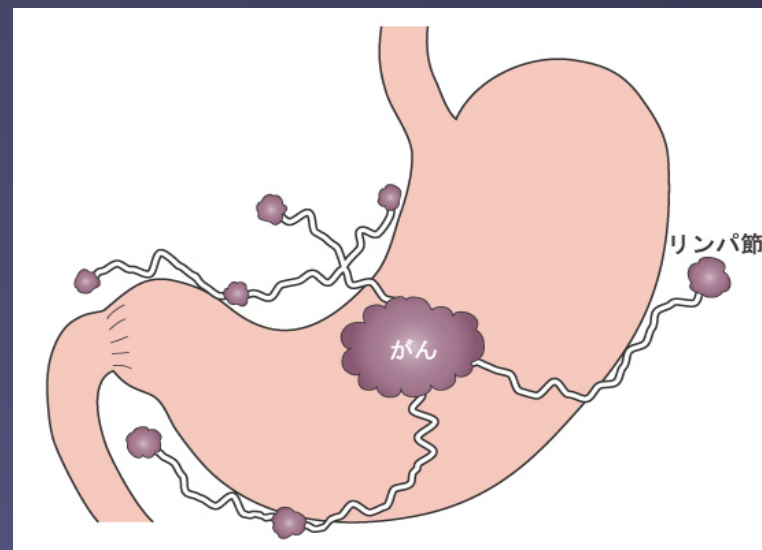


- ステージ1 95%
- ステージ2 80%
- ステージ3 50%
- ステージ4 10%

図2 胃癌の術後5年生存率

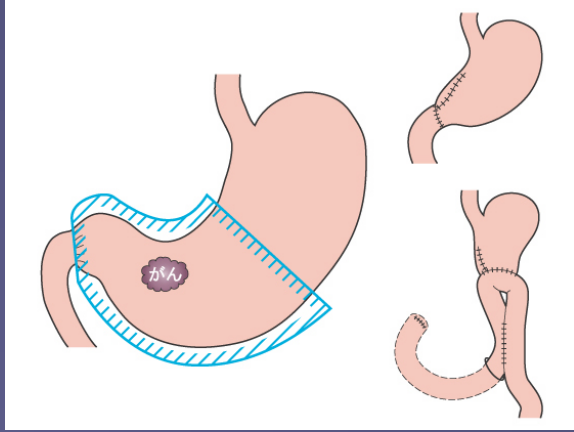


胃粘膜の浅い層にとどまっているものを早期癌と呼び、内視鏡手術や腹腔鏡手術の適応になる(ステージ1)。



ごく表面にとどまっている場合を除いて、がん病変だけでなく周囲のリンパ節も切除しないとイケない。

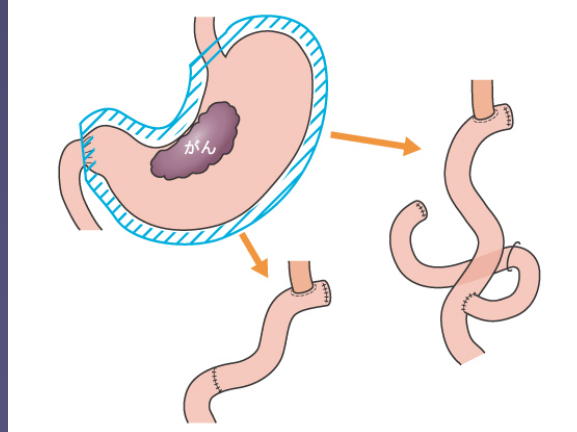
図3 胃がんの手術



胃幽門側切除

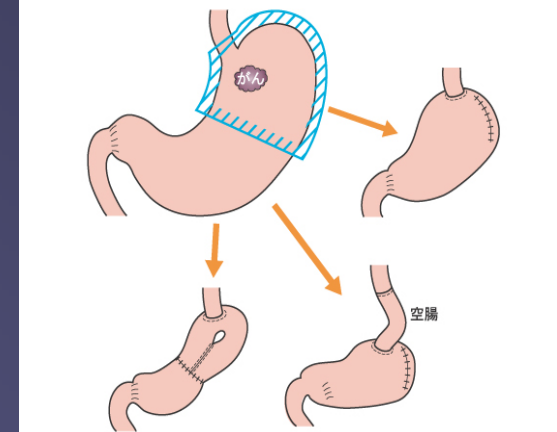


うち早期～軽度進行癌を
腹腔鏡下に行っている
(腹腔鏡下胃幽門側切除)



胃全摘術

早期癌を腹腔鏡下に行っている



胃噴門側切除



図4 代表的な胃の手術

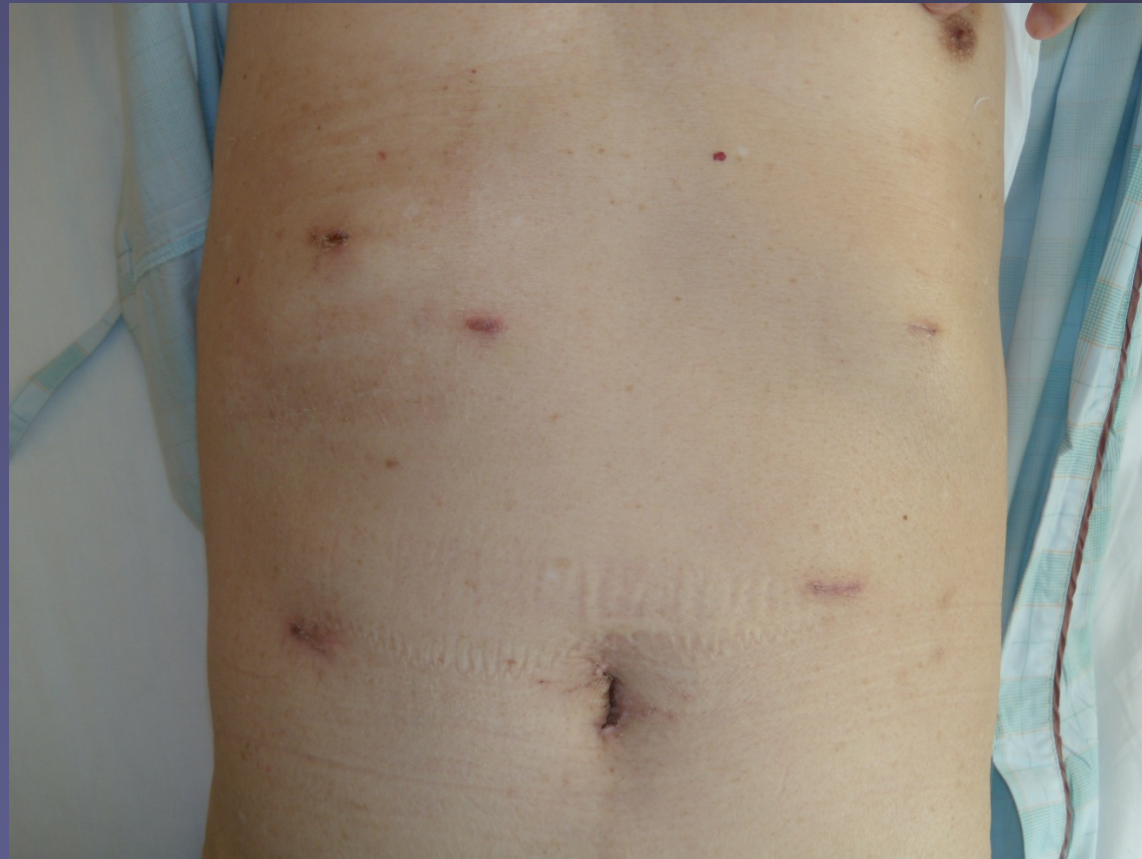


図5 完全腹腔鏡下胃幽門側切除の術後創部
臍部創は2.5cm. 臍窩に隠れて目立たない